

登録コード	E7263400	開講年度	2026				
授業科目	卒業研究					担当教員	瀧 直也
英文授業名	Graduation Study					副担当	
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	研究課題を自らの力でみつけ、先行研究の実態を調べてまとめ、課題を整理することができる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	研究課題にアプローチするための研究方法を活用し、得られたデータ等を分析し、客観的にまとめることができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	研究室において定期的（3 年次後期と 4 年次前期）にゼミ活動を実施し、卒業研究に関連したディスカッションをするとともに、分析方法・統計処理の方法等について演習する。また、4 年次後期からは、卒業研究の作成に向けて授業時間外において個別に指導する。 これらの活動をとおして、以下のことを習得する。 ・研究課題を自らの力でみつけることができる。 ・研究課題の周辺にある先行研究の実態を調べてまとめ、課題を整理することができる。 ・研究課題にアプローチするための研究方法について調べて、活用することができる。 ・得られたデータ等を分析し、客観的にまとめることができる。						
(5)授業計画	○4 年次前期までの定期的なゼミ活動 ・研究活動の意味を理解するためのディスカッション ・研究課題の設定に関するディスカッション ・研究方法（調査項目の作成方法、調査・実験計画、データ分析・統計処理の方法等）の演習 ○4 年次後期における個別指導 ・先行研究の分析 ・データ分析 ・考察 ・研究室における中間発表会の実施（11月下旬） ・論文作成（1 月下旬）・抄録作成（1 月下旬） ・卒論発表会でのプレゼンテーション（2 月上旬）						
(6)成績評価の方法	卒業論文作成プロセスにおける取り組みの態度、卒業研究の論文としての完成度、抄録の完成度・プレゼン能力等から総合的に評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	卒業論文作成において、①作成プロセスにおける取り組み態度が優れており、②卒業研究の論文としての構想が適切であり、③研究論文としての体裁が整っており、④適切な抄録作成とプレゼンができており、⑤その上で卒業研究として完成しており、かつ教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。 ① から⑤の 5 項目を満たしていれば「かなり上にある」。4 項目までできていれば「やや上にある」。3 項目までできていれば「水準にある」と評価する。						
(8)事前事後学習の内容	前週の授業内容の理解を毎回の授業冒頭に確認するため、前週の授業内容を毎回復習してから授業に臨むこと。						
(9)履修上の注意	野外教育専攻学生に限る。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	メールにて受付ける。メールアドレス：taki@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	特になし						
【参考文献】	「野外教育研究法」、日本野外教育学会編、杏林書院、2,700円						